

平成30年度第2回愛媛県出資法人経営評価専門委員会
議 事 録

日 時：平成30年12月17日（月）13：30～14：50

場 所：県庁第2別館6階 小会議室

出席者

〔委 員〕丸木委員長、岡本委員、弘末委員、山本委員

〔事務局〕行革分権課長、同課主幹ほか

《開 会》

○委員長挨拶

○議事

- (1) 平成30年度県出資法人経営評価の2次評価（案）について
- (2) 愛媛県出資法人経営評価指針の改定（案）について

【丸木委員長】

それでは、これより議事に入らせていただきます。

まず、平成30年度県出資法人経営評価の2次評価案について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、平成30年度県出資法人経営評価の2次評価案について説明させていただきます。

— 事務局説明 —

【丸木委員長】

ただいまの説明につきまして、各委員から、何か御意見や確認事項等がございましたらお願いします。

【弘末委員】

産業廃棄物処理センターについて確認なのですが、以前、施設の入札公告があったという話もありましたが、以降の動きについて、何か把握はしているのでしょうか。

【事務局】

担当課からは、11月下旬に入札を実施し、1社から入札があったものの、不調に終わったと聞いております。現在は取り急ぎ、その他の方策について検討を進めているとのこと。

【岡本委員】

施設を解体し、団体を解散するということになると、解体に係る費用や負債の返済の段取り等、県又は法人から道筋を示していただく必要があると思いますがいかがでしょうか。

【事務局】

県の担当課においても、今後の方向性や段取りについては、鋭意検討を進めているところ
です。

【岡本委員】

同センターのホームページでは、入札実施の情報を掲載した後、入札結果についての掲載
がないことに加え、現在では、入札情報自体も削除されており、一般の方は何が起きている
のかを把握することができず、不親切であると思う。もっと丁寧に情報公開をするべきでは
ないか。

【山本委員】

経営評価指針の見直しに係る資料の、財政的関与の見直しとしての「補助金の削減・整
理・統合」及び「貸付金の見直し」に関する部分の内容を踏まえて、補助金・貸付金が入っ
ている法人の2次評価案を見ると、この資料で述べられている内容と、法人の今後の取組み
に係る2次評価の内容がかけ離れているように思う。結果をとらえて書いているだけで、具
体的にどうしていくのかが分からない。先ほど、工程管理の話が出ましたが、そのあたりも
含め、「ではどうするのか」がわかる評価をするべきではないか。

例えば、貸付金支出及び貸付残高がある愛媛県廃棄物処理センター、えひめ産業振興財団、
えひめ農林漁業振興機構の3法人の2次評価については、評価指針に照らして、もっと踏み
込んだ内容が必要なのではないのでしょうか。

【事務局】

貸付金の内容についてですが、えひめ産業振興財団については、ファンド事業のために貸
し付けているものですから、事業が終了すれば、県に戻るという形になります。

えひめ農林漁業振興機構につきましては、貸付残高が毎年減少しております。担当課に確
認しましたところ、農業者への貸付が計画的に返済されているものであり、数年後には、こ
れが0になる見込みと聞いております。

愛媛県廃棄物処理センターの貸付金につきましては、経営状況に鑑みると、返済は非常に
苦しい状態と言わざるを得ません。

【山本委員】

それでは、えひめ産業振興財団及びえひめ農林漁業振興機構への貸付金については問題は
ないと言えるかもしれないが、やはり愛媛県廃棄物処理センターについては懸念が残る。

【丸木委員長】

今後のスキームによって、工程等も決まってくるということになるのではないのでしょうか。

【山本委員】

検討が進まなければ、スケジュールは決まらないとは思いますが、供用期限が32年1月である
ならば、それほど余裕はない。早期にタイムスケジュールを定めて、それに沿って進めてい
くことが重要ではないか。

【事務局】

えひめ廃棄物処理センターの評価については、原案の早期の対応決定を求める内容に、タイムスケジュールの策定についても追加したいと思います。併せて、情報公開のあり方についても課題提示をしたいと思います。

【山本委員】

えひめ産業振興財団のインキュベートルームや、愛媛エフ・エー・ゼットの稼働率・入居率について、ホームページにおいて空室状況の公開をするとともに、そのページへのアクセス数を測ることにより、関心度を確認することができるのではないのでしょうか。それが直接、評価へとつながるので、良い指標になると考えます。

【事務局】

えひめ産業振興財団の評価については、原案で情報開示への指摘とインキュベートルームの稼働率向上に係る指摘が別個になっているところを、表記を見直し、2つを連動させる形での指摘としたいと思います。

エフ・エー・ゼットの施設入居率については、既に改善しているとも聞いていますが、ホームページを活用した利用率向上の取組みについても指摘を追加する方向で調整いたします。

【岡本委員】

海づくり基金と国際交流協会に対し、資産規模に比して事業規模が小さすぎることへのコメントを求めたが、趣旨が伝わっていないように思う。一大企業レベルの資産を持ちながら、あまりにも事業量が少なく、法人の目的に対して資産が過大なのではないかとこのことを指摘したもの。例えば海づくり基金であれば、実施事業評価表欄に例年、ひとつの事業しか記載されておらず、本当にその事業しかしていないのか、だとすれば、その事業のためだけに、これだけの資産を保有しておく必要があるのかということを知りたい。多額の資産を持っていながら、限られた事業しかしていないように見受けられる。

【事務局】

両法人は主に基本財産運用益収入によって事業を実施しているため、ある程度の規模の資産を要する構造になっており、低金利状態における運用益の減少が、両法人の決算に直接影響している現状であります。御指摘の実施事業とのバランスにつきましては、出資金や法人設立のそもそもの経緯等も確認する必要があると思いますので、もう少し調べる必要があるかと存じます。その後、御指摘に対する評価につきまして、改めて御相談したいと思います。

【丸木委員長】

その他、御意見等ないようですので、議事を進めさせていただきます。

続きまして、愛媛県出資法人経営評価指針の改定案について、御審議をお願いします。この改定案につきましては、現在の評価期間における経営評価結果及び各種御指摘等を踏まえ、次期評価期間において取り組むべき課題を盛り込んだものでございます。それでは、事務局から説明をお願いいたします。

【山本委員】

行政の仕事は基本的に年度単位で作られているものではあるが、最近は複数年度、継続して評価を出すという形になってきている。そのような状況下では、評価の材料自体を、事業の継続性が見える形にしていかなければ、数字のみを見て判断せざるを得ず、現状ではプロセスが追えない。今年度の事業を受けて、次年度には事業をどのように展開させていくのかが分かるような形式を作らないといけないのではないかと思う。

また、人的関与について、個人的にはOBの関与が悪いことであるとは思わない。退職後、そのまま続く形で就職しているのであれば、政治的な関与があるのではないかと疑われる可能性があるが、例えば退職5年後に、経験を評価されて雇用される等であれば、特段問題はないのではないか。事業の仕組みを理解している人員がいるということは、組織にとっても有効であるはず。そうすると、人的関与の評価項目は、ただ「OBがいる」ということではなくて、一般的に前職からの影響力の消失に3年は必要と言われていることから、そのあたりを区切りに、退職して何年の職員が雇用されているかを見る指標にした方が明確化できるのではないか。

【事務局】

事業プロセスが分かるような形にした方が良いという御指摘については、各事業の事業指標のシートで事業費等の数値的なものは過去5年分を掲載しておりますが、その中に、これまでの経緯などを記載するという形を検討したいと思います。

【山本委員】

県民の税金を使って事業をしている以上、説明責任を果たし、一定の納得が得られることが必要であり、また黒字であれば良いというわけでもなく、赤字であっても継続していかなければならない事業もあると思います。だからこそ、プロセスの部分を明らかにしていくことが大切であるし、それがあつて、もう一つ踏み込んだ議論や実効性のある指摘もできるようにするのではないのでしょうか。

【事務局】

数字というのが最終的に形として見える結果であるとは思いますが、そこに至るまでのプロセス、その数字になった根拠等は、御指摘のとおり不足しているところでもありますので、そのような観点を盛り込むように検討したいと思います。

【弘末委員】

22もの法人があるので、統一的な方法で、全ての法人の中身やプロセスを記載するのは難しいと思う。しかし一定のルールの下で検証や評価ができなければ、それぞれが好き勝手のことを記載し、却って中身が見えなくなってしまうので、そのさじ加減に留意が必要。

【山本委員】

なぜその数値になったのかという記載がはじめからあれば、持ち帰って担当課に聞くという時間が省略できるのではないかと思う。

【事務局】

例えば貸付金があれば、その概要や返済に係る状況を記載するなど、それぞれの法人が抱える課題と、それに対するアプローチがわかるような様式とするなど、手法を検討したい。

【丸木委員長】

その他、全体を通じて何か御意見や御質問等はありませんか。
特にないようでしたら、以上で議事は終了します。

【事務局】

委員の皆様には今年度の経営評価につきまして、各種御指摘、助言をいただきまして誠にありがとうございました。二次評価につきましては、本日いただきました御意見について、早急に委員長と協議させていただきまして、最終的なものにさせていただきたいと思っております。

《閉 会》